



AEDを使って

心肺蘇生法学ぶ

春日井東高1年生

AED(自動体外式除

細動器)を使った心肺蘇生(そせい)法の実習が六日、春日井市廻間町の春日井東高校であり、一年生約百二十人が参加し

心肺蘇生法を体験する生徒
春日井市廻間町で

た。

同高は文部科学省の「在り方生き方教育」研究指定校となっており、心肺蘇生法の実習はその一環。

生徒たちは豊橋ハートセンター(豊橋市)の臨床工学技士杉浦武治さん(両)から指導を受け、人形を使った心肺蘇生法を体験した。AEDの使い方だけでなく、AEDを用意するまでの間も人工呼吸と心臓マッサージを繰り返すこと、さらに使用後も心臓が正常な鼓動を再開するまで絶対に心臓マッサージをやめないことなどを学んだ。

生徒の中には慣れない操作や動きに戸惑う姿も見られたが、練習を重ねるうちに次第にスムーズに。

「現場にいる人が最初の二分で何ができるかが生死を分ける」という杉浦さんの言葉には全員が真剣な表情で聞き入っていた。